# 令和４年度事業報告書

社会福祉法人大河原町社会福祉協議会

# 令和４年度　社会福祉法人大河原町社会福祉協議会　事業報告

（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）

**『ここに住む人が　お互いに支え合い　暮らしやすい地域をめざします』**

（『第２期地域福祉活動計画』基本理念）

## Ⅰ　総括概要

近年、わが国では少子高齢化の急速な進行や単身世帯の増加に伴い、家族・住民同士のつながりが希薄化する中で、社会的孤立や生活困窮などの地域の福祉課題が生じやすい環境となっています。生きづらさや困難はあるが既存の制度では対応しきれないケースや、8050 問題やダブルケアなど複数の生活課題を抱えるケースなど、地域の福祉課題は複合化・複雑化しており、地域社会を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。

国ではこうした課題に対応し、地域全体でつながり支えていく地域共生社会の実現を図るため、包括的な支援体制の整備を目的として、重層的支援体制整備事業を推進しています。さらに、地域社会の環境変化やコロナ禍による孤独・孤立の問題が深刻化していることに社会全体で対応すべく、孤独・孤立の重点計画が改定されました。これらの制度動向において、社会福祉協議会はこれまで以上の重要な役割が求められています。

大河原町社会福祉協議会では、第２期地域福祉活動計画の初年度として、４つの基本目標のもと、その実現に向け取り組みを進めました。また、３年にわたるコロナ禍において、感染症拡大防止のために多くの制約を受けましたが、生活福祉資金の特例貸付への対応及び地域のつながりや地域福祉活動を絶やさずに繋ぐための事業等を住民（会員）の皆さまやボランティア、関係機関等と協働しながら重点的に展開しました。

地域福祉活動計画の取組み指針に基づき重点的に取り組んだ事業は以下のとおりです。

### １．地域の中で、気軽に交流・参加・学べる場づくり

次世代の地域福祉の担い手育成を目的として、町内３つの小学校において「出前福祉講座」を数多く実施しました。福祉に関する講話だけでなく、子どもたちと障がいのあるひとや高齢者との交流体験・学習を中心に実施しました。また、地域のボランティア団体等と協力し、子どもたちの気づきを大切にするカリキュラムにしました。

事業実施後、多くの子供たちから、大変勉強になった。高齢や障がいのイメージが変わった。などの感想をもらい、高齢者や障がい者などの理解と共に、地域で共に生きる力の育成にも役立ったと考えています。

### ２．誰もが地域で活動できる環境を整備し、地域を支える人づくり

令和４年度は、生活支援体制整備事業を中心として、終息が見えないコロナ禍の困難な状況を踏まえ、引き続き、地域住民の交流と健康を維持しながら、コロナ後には人と人との対面での交流が復活できるような取り組みを行いました。具体的には、週に７カ所でラジオ体操を実施し、地域の高齢者の健康増進と交流を図りました。そのほか有償ボランティアによる「よりそいたい」事業を実施し、草取りや掃除などの高齢者の日常生活を支援しました。また、新たな取り組みとしては、行政区を対象とした通いの場の整備に係る助成制度（「地区のつながりに役立つ備品等の整備助成事業」）をつくり、地域活動の継続と再開に向けての準備を支援しました。

## ３．困りごとを受け止めつながり続ける仕組みづくり

広報誌「社協だより」やホームページを通じて、本会の事業やボランティアの活動状況などを住民の皆様にお伝えしています。「社協だより」は年四回発行し、町内全世帯に配布しています。令和４年１０月１４日にホームページを全面リニューアルし、より見やすく使いやすくしました。これらの広報活動の結果として、ネットを利用した相談やボランティア活動への問い合わせが増えています。また、テレビや新聞などのメディアでも本会の事業が取り上げられ、多くの方から関心や反響をいただきました。

## ４．組織の基盤強化と体制の充実

本会では多くの自主事業のほか、以下の地域福祉に関連する事業を町から受託しています。民間団体であることの柔軟性を生かしつつ、町との連携を密に取りながら、的確で適正な事業遂行に努めました。

（１）「大河原町福祉作業所さくら指定管理者」町から指定管理者の指定をうけ、福祉作業所さくらの管理、運営にあたっています。障がい者が地域の中で自立した生活を送ることができるように支援等を行っています。

（２）「一般介護予防事業（ミニデイサービス事業）」高齢者が介護状態になることを予防するため、個別活動、目標を計画し、介護プログラムの実施、事後のモニタリング、送迎を行う、ミニデイサービス事業を実施しました。

（３）「大河原町生活支援体制整備事業」高齢者の生活支援・介護予防サービスの充実と社会参加に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の発掘・養成等とともに、地域資源の把握・開発やネットワーク化を目指した調査・研究及び関連事業を実施しました。

（４）「認知症カフェ事業（カフェ木もく）」認知症になっても住み慣れた町で安心して暮らしていくために、認知症の人、その家族、地域住民などが参加し集える場として「認知症カフェ・カフェ木もく」を開催しました。

以下、詳細な事業の実施状況について報告いたします。

## Ⅱ　事業報告

### 法人運営事業部門

### １．法人運営事業

法人の円滑な運営を図るため、次の会議を開催した。

**（１）理事会の開催**

| 開催年月日 | 議　　題 | 出席者 |
|---|---|---|
| ５月２４日（火）<br>（第１回） | 報告第１号　会長職務の執行状況について<br>議案第１号　令和３年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会事業報告の承認について<br>議案第２号　令和３年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会収支決算の承認について<br>議案第３号　令和４年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第１次）について<br>議案第４号　補欠役員候補者の選任について<br>議案第５号　「評議員の選任・解任委員」補欠委員の選任について<br>議案第６号　定時評議員会の開催について | 理事９名<br>監事２名 |
| ６月３日（金）<br>（第２回） | 議案第７号　補欠役員候補者の選任について | 理事７名<br>監事１名 |
| 12 月 13 日（火）<br>（第３回） | 報告第２号　会長職務の執行状況について<br>報告第３号　令和４年度一般会費及び賛助・特別会費の納入状況について<br>報告第４号　令和４年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会上半期監査実施状況について<br>議案第８号　社会福祉法人大河原町社会福祉協議会給与規程の一部改正について<br>議案第９号　令和４年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第２次）について<br>議案第 10 号　補欠役員候補者の選任について<br>議案第 11 号　第１回評議員会の開催について | 理事 10 名<br>監事１名 |
| ３月１４日（火）<br>（第４回） | 報告第５号　会長職務の執行状況について<br>報告第６号　福祉有償運送事業の業務廃止について<br>報告第７号　大河原町職員の派遣に関する協定等について<br>議案第 12 号　社会福祉法人大河原町社会福祉協議会就業規則の一部改正について<br>議案第 13 号　令和５年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会事業計画（案）について<br>議案第 14 号　令和５年度社会福祉法人大河原町社会福祉 | 理事９名<br>監事２名 |

| | | |
|---|---|---|
| | 協議会一般会計資金収支予算（案）について<br>議案第 15 号　令和５年度一般介護予防事業の受託について<br>議案第 16 号　令和５年度認知症カフェ事業の受託について<br>議案第 17 号　大河原町福祉作業所さくら指定管理に関する年度協定の締結について<br>議案第 18 号　大河原町生活支援体制整備事業の受託について<br>議案第 19 号　第２回評議員会の開催について | |

**（2）評議員会の開催**

| 開催年月日 | 議　　題 | 出席者 |
|---|---|---|
| ６月１６日（火）<br>（定時評議員会） | 議案第１号　令和３年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会事業報告の承認について<br>議案第２号　令和３年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会収支決算の承認について<br>議案第３号　令和４年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第１次）について<br>議案第４号　補欠役員の選任について | 評議員 15 名<br>理事３名<br>監事１名 |
| １２月２０日（火）<br>（第１回） | 報告第１号　令和４年度一般会費及び賛助・特別会費の納入状況について<br>報告第２号　令和４年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会上半期監査実施状況について<br>報告第３号　社会福祉法人大河原町社会福祉協議会給与規程の一部改正について<br>議案第５号　令和４年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第２次）について<br>議案第６号　補欠役員の選任について | 評議員 14 名<br>理事３名<br>監事１名 |
| ３月２４日（金）<br>（第２回） | 報告第４号　福祉有償運送事業の業務廃止について<br>報告第５号　社会福祉法人大河原町社会福祉協議会就業規則の一部改正について<br>報告第６号　令和５年度一般介護予防事業の受託について<br>報告第７号　令和５年度認知症カフェ事業の受託について<br>報告第８号　大河原町福祉作業所さくら指定管理に関する年度協定の締結について<br>報告第９号　大河原町生活支援体制整備事業の受託について<br>報告第 10 号　大河原町職員の派遣に関する協定等について<br>議案第７号　令和５年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会事業計画（案）について<br>議案第８号　令和５年度社会福祉法人大河原町社会福祉協議会一般会計資金収支予算（案）について | 評議員<br>１３名<br>監事１名<br>理事３名 |

### （3）監事監査

令和３年度決算並びに令和４年度における理事の業務執行状況及び財産状況等の監査を実施した。

| 開催年月日 | 内　　容 | 出席者 |
|---|---|---|
| ４月２６日（火）<br>決算監査 | 下半期監査（１０月１日～３月３１日）<br>令和３年度決算 | 会長・副会長２名<br>監事２名<br>事務局３名 |
| １１月１５日（火）<br>定期監査 | 上半期監査（４月１日～９月３０日） | 会長・副会長２名<br>監事１名<br>事務局３名 |

## ２．会員会費制の推進

### ○会員の加入状況

今年度も新型コロナウィルス感染症の影響を考慮して、賛助・特別会費については目安額は設定しないこととし、納期も 11 月まで延長した。

| 種類 | 会費 | **令和４年度** | | 令和３年度 | | 増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | **加入数** | **納入額** | 加入数 | 納入額 | 加入数 | 納入額 |
| 一般会員 | 500 円 | **7,639 世帯** | **3,819,500 円** | 7,538 世帯 | 3,769,000 円 | 101 世帯 | 50,500 円 |
| 賛助会員 | 500 円以上 10,000 円未満 | **610 口** | **3,042,000 円** | 616 口 | 2,986,500 円 | △6 口 | 55,500 円 |
| 特別会員 | 10,000 円以上 | **43 口** | **450,000 円** | 47 口 | 470,000 円 | △4 口 | △20,000 円 |
| 団体会員 | 6,000 円以上 | **8 団体** | **48,000 円** | 3 団体 | 18,000 円 | 5 団体 | 30,000 円 |

増減計　116,000 円

## ３．地区福祉推進委員長会議の開催

地区福祉推進委員長会議を開催し、本会事業の説明と会費募集をお願いした。

日　時　令和４年７月２２日（金）午後１時１５分～３時３０分

内　容　社会福祉協議会会員会費の募集について

会　場　大河原町福祉センター

## ４．その他

（１）寄附金の状況（令和４年度中）

個人、企業、各種団体からご寄附を頂き、本会活動に有効に活用した。

寄附件数　31 件　寄附金額　428,536 円

（２）各種表彰及び感謝状の推薦事務

地域福祉の発展に功績のあった方々を、県知事表彰･県民児協会長表彰･県共同募金会長表彰等に推薦して、表彰された。

（３）社会福祉士受験資格のための体験学習の受入

東北福祉大学総合福祉学部３学年の学生１名を受入した。（８月３０日～９月１日）

（４）正副会長会議の開催

法人の運営及び事業について、会長・副会長・事務局長・次長による会議を実施した。毎月第１月曜日か木曜日、年間、計１３回開催。

（５）職員会議の開催（一木職員会議）

会長及び職員による事業についての打合せ会議を毎月１回、主に最終木曜日に行った。

## 地域福祉活動事業部門

### １．広報事業

（１）広報誌「社協だより」の発行（全戸配布）

地域福祉に対する理解と啓発､本会の活動などの周知を図るため､｢社協だより｣を発行し、町内全戸に配布した。**発行部数　11,000 部**

| 号　数 | 発行日 |
|---|---|
| 第 115 号 | ５月１５日 |
| 第 116 号 | ８月１５日 |
| 第 117 号 | １２月１５日 |
| 第 118 号 | ２月１５日 |

（２）社会福祉法人大河原町社会福祉協議会ホームページ

ホームページ新しくリニューアルし、社会福祉や本会に対する最新情報の発信に努めた。また、フェイスブックを開設しタイムリーな情報を発信した。

### ２．移送サービス事業等

福祉有償運送法で実施している移送サービス事業については、利用者及び運転ボランティアの減少、車両の老朽化などにより、令和４年度末で事業の廃止手続きをした。

また、福祉車両貸出事業については、地域のイベントにおける送迎等、利用対象の拡大を図った。（貸出件数３８件）

### ３．福祉用具の貸出事業

（１）福祉用具貸出事業

障がいのある方や高齢者等の日常生活を支援するため、福祉用具の貸出を行った。

| 用具名 | 貸出件数 | 回収 | 貸出中 | 在庫 | 総数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 介護用ベッド | １０ | １５ | ３３ | １９ | ５２ |
| 車いす | ５８ | ４９ | ５２ | ２９ | ８１ |
| 歩行器 | 8 | 6 | １０ | 5 | １５ |
| 四点杖 | 5 | 5 | 4 | １０ | １４ |
| **合　計** | **８１** | **７５** | **９９** | **６３** | **１６２** |

※（運搬数１５件　運搬ボランティア登録数１８名）

※その他の貸出実績（小学校における福祉体験での車いす使用）

（２）チャイルドシート等貸出事業

交通法令の遵守と子育て支援を目的として、チャイルドシート、ジュニアシートの貸出を行った。

| 物品名 | 貸出数 | 回収数 | 貸出中 | 在庫数 | 総　数 |
|---|---|---|---|---|---|
| チャイルドシート | ２５ | ２２ | １４ | 5 | ２５ |
| ジュニアシート | 9 | 5 | 7 | 3 | １０ |
| 合　計 | ３４ | ２７ | ２１ | 8 | ３５ |

## ４．おもちゃの図書館「パオ」事業

障がい児・者とその家族、地域の支援者が集い、気軽に交流できる場を開設し、研修や地域での居場所づくりの機会を提供することを目的として年６回実施した。

| 日　時 | 内　容 | 参加者数 |
|---|---|---|
| 5月１４日（土）<br>午前 9 時～13 時 45 分 | 移動研修「いちご農園見学・いちご狩り」<br>場所：ラ・フレーズ、かわまちてらす閑上（名取） | １５名 |
| 7月２３日（土）<br>午前 10 時～12 時 30 分 | 「ニュースポーツを楽しもう」<br>場所：大河原町福祉センター | 6名 |
| 9月１０日（土）<br>午前 10 時～12 時 | 勉強会「防災・福祉避難所について」<br>場所：大河原町福祉センター | １１名 |
| １１月１９日（土）<br>午前 10 時～12 時 30 分 | 「工作を楽しもう」<br>場所：大河原町福祉センター | １１名 |
| 1月２１日（土）<br>午前 10 時～12 時 30 分 | 勉強会「スマホの使い方・犯罪のリスクについて」<br>場所：大河原町福祉センター | 9名 |
| 3月１８日（土）<br>午前 10 時～11 時 30 分 | 「今年度の振り返りと次年度の活動について」<br>場所：大河原町福祉センター | 6名 |

## ５．地区福祉推進事業

### （１）地区福祉活動推進給付金

各行政区（地域）において、地区福祉推進委員、ボランティア等と共に地区福祉活動を活発化するため、各行政区から寄せられた賛助会費、特別会費の半分を（還付）給付した。

**○地区福祉活動推進給付金総額：41 行政区　1,746,000 円**

### （２）地区福祉活動推進研修会の開催（災害ボランティアセンターとのタイアップ事業）

地区福祉の推進を図るため、地区福祉活動推進研修会を開催した。

日　時　令和４年１１月１１日（金）午後１時３０分～３時３０分

議　事　第１部　「地域共生社会の実現に向けて」

講　師　　宮城県社会福祉協議会　地域福祉課長　稲邊　康宏氏

第２部　「災害ボランティアを考える」

講　師　　東北学院大学特任准教授　渡邊　圭氏

対　象　地区福祉推進委員（６９名参加）

場　所　大河原町中央公民館大ホール

### （３）善意銀行事業（受入・払出状況）

○物品受入（２３件）

未使用切手、肌着、タオル、介護用オムツ等の受入れした（いただいた。）

○物品払出（２３件）

町内の福祉関係施設や本会事業、町内の方々に払出した（活用した。）

○金品払出（義援金７件 180,000 円・火災見舞金１件 20,000 円）

### （４）マイクロバス貸出事業

地域福祉の向上を目的とした地区の集いや研修等、福祉・ボランティア団体の研修に対し、本会のマイクロバスを貸出した。　**貸出件数　１４件**

### （５）軽トラック貸出事業

地域福祉活動を支援するため、軽トラックの貸出を行った。貸出件数　２４件

### （６）「地区のつながりづくりに役立つ備品等」整備助成事業

地域コミュニティ活動などの継続と活性化を図ることを目的として、集会所等の備品購入等を助成した。令和４年度新規事業

**助成実績　４件（５行政区）に対し　５７４，０００円**

| 地区名 | 桜町３区 | 金ケ瀬４区・５区 | 丑越区 | 錦町区 |
|---|---|---|---|---|
| 主に使用するグループ等 | 桜町３区子ども会育成会<br>桜町３区さくらの会 | きらくなサロン<br>金ケ瀬５区農家生産組合 | 丑越区長寿会<br>丑越区育成会 | 錦町区グラウンド・ゴルフ協会<br>錦町区健康教室 |
| 整備（購入）備品 | インクジェットプリンター(地区のお知らせ、サークル活動チラシ等の印刷 | 軽量キャスター付き会議用テーブル | テレビ（健康体操等モニター）<br>ブルーレイプレイヤー（地区活動記録・視聴） | グラウンドゴルフセット（貸出）<br>ＣＤカセットレコーダー（健康体操等）<br>チェーンソー（公園の整備等） |
| 助成額 | 131,000 円 | 183,000 円 | 118,000 円 | 142,000 円 |

**（７）各福祉関係団体の支援、協力**

福祉関係団体団体の円滑な運営と育成支援を目的として、本会で事務局を担当し団体事務や連絡調整を行った。本会で事務局を担当した団体は以下の通りである。

**大河原町共同募金委員会**

| | |
|---|---|
| 構　成 | 運営委員数１３名　　審査委員１３名 |
| 会議の状況 | 運営委員会：年３回　審査委員会：年１回 |
| 支援内容 | ①　事業運営全般　②会計処理　③募金活動（赤い羽根、歳末たすけあい、災害義援金、街頭募金等）④助成金の申請・配分 |

**大河原町民生委員児童委員協議会**

| | |
|---|---|
| 構　成 | 定数５６名／現員数　民生児童委員数４５名　主任児童委員数３名 |
| 会議の状況 | 定期総会・臨時総会　定例会（毎月）<br>正副会長会（１２回)、運営委員会（４回)、監査会（１回） |
| 支援内容 | ①　会議資料作成　②報告文書等の作成と発送　③会議運営支援<br>④　会計事務支援　⑤町・県等との連絡調整 |

**大河原町身体障害者福祉協会**

| | |
|---|---|
| 構　成 | 会員数１６名 |
| 会議の状況 | 総会：年１回、役員会：年１回、会員交流会：年２回 |
| 支援内容 | ①　補助金の申請手続き（申請～実績報告）②会計処理<br>⑤　会議等の運営　④各種行事の運営　⑤仙南地方連協の運営 |

**大河原町老人クラブ連合会**

| | |
|---|---|
| 構　成 | １３単位クラブ　会員数３９２名 |
| 会議の状況 | 総会：年１回、理事会：年３回、監査会：年１回、<br>専門部会：年６回 |
| 支援内容 | ①　補助金の申請手続き（申請～実績報告）②会計処理<br>③会議等の運営　④広報紙の発行<br>※スポーツ大会、趣味の作品展等 |

**大河原町ボランティア連絡会**

| | |
|---|---|
| 構　成 | １７グループ　会員数３１５名 |
| 会議の状況 | 総会：年１回、正副会長会議：年３回、監査会：年１回、<br>研修会：年１回 |
| 支援内容 | ①　会議等の運営　②会計処理　③仙南地方ボランティア連絡協議会への参加及び事務局支援 |

## ６．コミュニティカフェ・リアン事業

地域の人たちが集まり、人と人をつなげる交流の場として、福祉センターで週１回（月曜日）コミュニティカフェ・リアンを開催した。　開催日数：４２日

〈令和４年度利用状況〉

| 大人（男性） | 大人（女性） | 小中学生 | 未就学児 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| １５９名 | １８０名 | ０名 | ４名 | ３４３名 |

※ボランティア延べ１６８名（ボランティア登録数１９名）

## ７．オープンカフェ事業

７月３０日(土)開催を予定していたが､新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

## ８．たんぽぽ食堂事業（こども食堂事業とフードパントリー事業）

**（1）こども食堂**（１２回開催：利用延べ５５３名）

カレーライス弁当を作り、見城前ファミリーマート駐車場と大河原中学校前（蔵王電気精米所付近）で配布した。年度当初 30%以下だったリピーター率が、最終３月には 75%となり定着してきたことが覗える。

**（2）フードパントリー事業**（６回開催：利用延べ２２３件）

児童扶養手当対象世帯を対象に希望を募り、登録された 59 世帯の方へ２カ月ごとに食料品等を配付した。また、12 月には、上谷地区農業生産組合より米・野菜１トン以上をいただき配付した。

## ９．フードバンク事業（緊急食料支援事業）

地元企業や住民から食品の寄附を受け、これを生活に困窮する個人や町内のボランティア団体等に提供した。総重量：4,752 kg

食品寄附件数　　１０５件　内訳　個人８６件、企業１９件

食料支援（提供）件数　２４５件　内訳　個人２３８件、ボランティア団体７件

## １０．ふれあい・いきいきサロン活動推進事業

地域の身近な場所で住民が自主的・主体的に活動を行う「ふれあい・いきいきサロン」活動団体の事業運営に対して助成金を交付し、小地域での福祉活動の拡充と活性化を図った。

登録団体：１４団体　助成金の交付：１２団体５７５，３８０円

〈ふれあい・いきいきサロン活動助成金交付先〉

| NO | サロン団体名 | 開催回数 | 延参加数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 西原区「お茶っこ飲みの会」 | ２回 | ３６名 |
| 2 | 尾形丁２区「駅前元気かい」 | １２回 | １５０名 |
| 3 | 中島町区「一休会」 | １０回 | ２１２名 |
| 4 | 本町２区「にこにこ会」 | １２回 | １２９名 |
| 5 | 上町１区「きんぼし会」 | １０回 | １８１名 |
| 6 | 中町区「なごやか会」 | １０回 | １２８名 |
| 7 | 尾形丁１区「ひまわり会」 | １０回 | １４３名 |
| 8 | 本町１区サロン「なごみ会」 | １０回 | １２５名 |
| 9 | 金ケ瀬６区「笑笑（わいわい）会」 | １４回 | １９９名 |
| １０ | 小島区「サロン・いなほ」 | １２回 | １８１名 |
| １１ | 上川原区「つどいの会」 | ２４回 | ３０２名 |
| １２ | 上谷１区「レインボー会」 | ９回 | ３３７名 |
| 合計 | １２団体 | １３５回 | ２，１２３名 |

## １１．一人暮らし高齢者「非常持ち出し袋」支給事業

地域で暮らす一人暮らし高齢者（７０歳以上）に、災害時の備えを啓発するため民生委員の協力を得て「非常持ち出し袋」を支給した。

実施日　令和５年２月８日（火）他　**支給者　８３名**

## １２．ブックスタート事業

子どもと保護者のこころの健康づくりと地域における子育て支援を目的に、町の乳幼児健診で絵本を配布した。

**４ケ月児　　年６回：１２５名　　１歳６ケ月児　年８回：１４１名**

## １３．ボランティアセンター事業

（１）ボランティア保険取扱状況

| 保険の種類 | 申込件数 | 人数 | 事故数 |
|---|---|---|---|
| ボランティア保険 | ５２ | ６４４名 | 0 |
| ボランティア・福祉活動行事保険 | ８３ | ２，３０４名 | 0 |

（２）ボランティアスクール

８月９日（火）に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

（３）福祉教育の推進

町内の小中学校及び地域を対象に、講話及び交流体験を通して、福祉教育活動を行った。

（合計１４回：参加８４１名）

**１ ボランティアの心得とボランティア活動について(講話)**

対　象　大河原中学校ボランティア部　９名

日　時　５月１０日(火)１６時００分～１７時００分

場　所　大河原中学校教室

**２ 下肢障がい、聴覚障がい、視覚障がいについて(車いす、手話、アイマスク体験)**

対　象　大河原小学校３学年　１２９名

日　時　９月１３日(火)８時４０分～１０時１０分

９月１４日(水)１０時４０分～１２時００分

場　所　大河原小学校音楽室及び理科室

**３ 福祉、社会福祉協議会について(講話)**

対　象　金ケ瀬小学校５学年　３６名

日　時　１０月３１日(月)１１時３５分～１２時２０分

場　所　金ケ瀬小学校５年生教室

**４ 福祉、社会福祉協議会について(講話)**

対　象　大河原南小学校３学年及び４学年　９０名

日　時　１１月１８日(金)１３時２０分～１４時０５分

場　所　大河原南小学校体育館

**５ 下肢障がい、視覚障がいについて(車いす、白杖体験)**

対　象　大河原南小学校３学年及び４学年　９０名

日　時　１１月２５日(金)９時２５分～１０時１０分

１０時４０分～１１時２５分

場　所　大河原南小学校体育館

**６ 高齢者の身体と暮らしの変化について(オンラインで交流)**

対　象　大河原小学校３学年　１２９名

日　時　１１月２８日(月)～１２月１日(木)　１０時４０分～１１時２５分（４日間）

場　所　大河原小学校及び小島生活センター、ほっとあい、福祉センター

**７ 高齢者の身体の変化について(講話及び高齢者疑似体験)**

対　象　大河原南小学校４学年　４４名

日　時　１２月６日(火)１３時２０分～１４時５５分

場　所　大河原南小学校体育館

**８ 下肢障がい、視覚障がいについて(車いす、白杖体験)**

対　象　金ケ瀬小学校５学年　３６名

日　時　１２月７日(水)１０時４０分～１２時２０分

場　所　金ケ瀬小学校ポプラホール

**９ 高齢者の暮らしについて(高齢者との交流)**

対　象　大河原南小学校４学年　４４名

日　時　１月１８日(金)１０時４０分～１１時２５分
場　所　大河原南小学校体育館

**10 盲導犬と視覚障がい者の生活や暮らしの工夫について(講話)**

対　象　大河原南小学校４学年　４４名
日　時　１月２３日(月)１３時２０分～１４時０５分
場　所　大河原南小学校体育館

**11 下肢障がい、視覚障がいについて(車いす、点字体験)**

対　象　大河原南小学校５学年及び保護者　７４名
日　時　１月２７日(金)１０時１５分～１２時１０分
場　所　大河原南小学校体育館及び理科室

**12 盲導犬と視覚障がい者の生活や暮らしの工夫について (講話)**

対　象　金ケ瀬小学校５学年　３６名
日　時　２月２０日(月)１０時４０分～１１時２５分
場　所　金ケ瀬小学校ポプラホール

**13 車いすユーザーの生活や暮らしの中の大変さと工夫について (講話)**

対　象　金ケ瀬小学校５学年　３６名
日　時　２月２４日(金)１３時４５分～１４時２０分
場　所　金ケ瀬小学校ポプラホール

**14 視覚障がい、聴覚障がいについて (点字、手話体験)**

対　象　大河原南小学校４学年　４４名
日　時　２月２７日(月)１０時４０分～１２時１５分
場　所　大河原南小学校４年生教室

（４）有償ボランティア（よりそい・たい）助け合いサービスの推進

高齢者等の日常生活上のちょっとした困りごとに対応するため、有償ボランティアによる助け合い活動を実施した。

| 種　別 | 人　数 | 性　別 | |
|---|---|---|---|
| | | 男 | 女 |
| 利用者登録 | ４２名（前年度比＋１１） | １３名 | ２９名 |
| ボランティア登録 | １９名（前年度比＋５） | ９名 | １０名 |

相談受付件数　　６６件　　**利用件数　　４５件**

＊食事の支度１、衣類の洗濯１、掃除・整理１２、庭の草取り２２、精米２、
その他　ゴミ出し等７

（５）ボランティアグループ・福祉団体助成事業

町内にあるボランティアグループ・福祉団体の活性化と活動しやすい環境づくりを推進するため、共同募金配分金を活用しボランティア・福祉活動に要する事業費を助成した。

大河原町老人クラブ連合会　　３０，０００円

ＮＰＯ法人ほっとあい　　２０，０００円
大河原町身体障害者福祉協会　　３０，０００円
朗読グループ「糸でんわ」　　１５，０００円
点訳グループ「てんとうむし」　３０，０００円
大河原町母子寡婦福祉会　　３０，０００円
大河原町ボランティア連絡会　　２０，０００円　**合計７団体：１７５，０００円**

（６）バリアフリーなまちづくり事業

点訳グループ「てんとうむし」で点訳絵本を作成し、駅前図書館及び社協事務所へ設置した。

（７）機材や物品等の貸出

福祉団体やサロン団体の円滑な活動を支援するため、福祉用品等の貸出を行った。

コミュニケーション麻雀（ジャンボ牌）　２回（貸出し回数・以下同じ）
ボッチャ（ニュースポーツ用具一式）　２回
卓球バレー（ニュースポーツ用具一式）　４回
体温計（感染予防）　１回
パーティション（感染予防）　１回
プロジェクター（行政区会議用）　１回

（８）２４時間テレビ 45「愛は地球を救う」

新型コロナウィルス感染症予防のためボランティアの募集は行わず、事務局職員のみで募金活動を実施した。（募金額：１１７，４７２円）

日　時　　令和４年８月２８日（日）午前１０時～午後４時
内　容　　街頭募金活動
場　所　　みやぎ生協大河原店前

（９）収集ボランティア

使用済み切手、書き損じハガキ、ベルマークを回収し、各種団体へ提供した。

| 物品名 | 延べ件数 | 送り先及び用途 |
|---|---|---|
| 使用済み切手 | １００件 | 東北福祉大学を通して（社）日本キリスト教海外医療協力会へ送付し、ワクチン代として役立てる。 |
| ベルマーク | ２３件 | 学校へ渡し、学校事業に役立てる。 |

## １４．災害ボランティアセンター事業

研修会等への参加

災害ボランティアセンター設置運営責任者研修

日　時　令和４年１０月２７日（木）午前１０時～午後４時

場　所　ハーネル仙台

災害ボランティアセンタースタッフ体験研修

日　時　令和５年２月８日（木）午後１時３０分～午後３時３０分

場　所　亘理町役場

災害ボランティアセンタースタッフ体験研修

日　時　令和５年２月１６日（木）午前 10 時～正午

場　所　村田旧第三小学校体育館

災害ボランティアセンター運営システム体験会

日　時　令和５年２月２４日（金）午後４時～午後５時　オンライン

災害ボランティアセンター運営システム体験会

日　時　令和５年２月２７日（月）午後４時～午後５時　オンライン

## １５．生活相談所事業

住民が身近な場所で、生活に関する相談をすることができる窓口を開設した。

日　時　　毎週月曜日１０時～午後３時

場　所　　大河原町福祉センター２階相談室

生活相談員　５名（男性２名・女性３名）２名１組にて対応

**開設日　　４６日**

〇相談人数と処理状況

**相談人数　男１名・女８名　相談事項　９件**

〈相談事項内訳〉　　＊１人で複数の相談事項があったため相談人数とは一致しない

| No. | 相談事項 | 取扱件数 | No. | 相談事項 | 取扱件数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 生計 | 4 | １２ | 財産 | 1 |
| 2 | 年金 | 0 | １３ | 事故 | 0 |
| 3 | 職業・生業 | 2 | １４ | 児童福祉・母子保健 | 0 |
| 4 | 住宅 | 2 | １５ | 教育・青少年 | 1 |
| 5 | 家族 | 1 | １６ | 障害者（児）福祉 | 0 |
| 6 | 結婚 | 0 | １７ | 母子福祉・父子福祉 | 0 |
| 7 | 離婚 | 0 | １８ | 老人福祉 | 0 |
| 8 | 健康・衛生 | 0 | １９ | 苦情 | 0 |
| 9 | 医療 | 1 | ２０ | その他 | 4 |
| １０ | 精神衛生 | 1 | 合　計 | | １８ |
| １１ | 人権・法律 | 1 | | | |

生活相談所ケース検討会の開催

| 開催年月日 | 参加者 | 内　　容 |
|---|---|---|
| ５月２３日（月） | 相談員５名<br>事務局４名 | １　相談事業第１回ケース検討<br>令和３年度下半期分ケースについて<br>２　生活福祉資金・生活安定資金についての状況報告 |
| １２月５日（月） | 相談員５名<br>事務局４名 | １　相談事業第２回ケース検討<br>令和４年度上半期分ケースについて<br>２　生活福祉資金・生活安定資金についての状況報告 |

## 受託事業・指定管理事業部門

### １．福祉サービス利用援助事業

日常生活自立支援事業「まもりーぶ」（宮城県社会福祉協議会受託業務）

認知機能に低下が見られる高齢の方や知的障がい・精神の障がいのある方を対象に、福祉サービス利用に関する相談・助言や、生活支援員の定期的な訪問による日常的な範囲の金銭管理、生活変化の見守りを行い自立した生活が送れるよう支援した。

利用者状況：令和４年度末

| | 認知症高齢者 | 知的障害者 | 精神障害者 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者総数 | ０名 | １名（前年度比±０） | １名（前年度比－１） | ０名 | ２名 |

生活支援員　　２名

主な支援内容　　福祉サービスに関する相談と助言・日常的な金銭の管理・書類等の預かり

利用者からの預託物品　通帳２通　印鑑２本

### ２．一般介護予防事業（ミニデイサービス事業）（大河原町受託業務）

６５歳以上の要支援・要介護認定を受けていない高齢者を対象に、高齢者が要介護状態になることを予防し、生活の質の向上を目指すことを目的に実施した。

【事業実施概要】

実施日　　毎週水曜・木曜（利用者１名につき週１回の利用）

時　間　　午前１０時から午後３時

場　所　　大河原町福祉センター2 階

取組事項　栄養改善指導６回、口腔機能向上指導１０回、運動機能向上運動７５回

登録人数　２６名（男１名・女２５名）令和４年度末

【令和４年度利用状況】

| 実施月 | 利用延人数（名） | 食事（名） | 開所日数（日） | ボランティア延人数（名） | １日利用者平均（名） |
|---|---|---|---|---|---|
| ４月 | ６０ | ６０ | 8 | 8 | 7 |
| ５月 | ４６ | ４６ | 6 | 6 | 8 |
| ６月 | ８２ | ８２ | １０ | １０ | 8 |
| ７月 | ８２ | ８２ | 8 | 8 | 10 |
| ８月 | ６８ | ６８ | 7 | 7 | 10 |
| ９月 | ８８ | ８８ | 9 | 9 | 10 |
| １０月 | ８９ | ８９ | 8 | 8 | 11 |
| １１月 | ８２ | ８２ | 7 | 7 | 12 |
| １２月 | ７０ | ７０ | 7 | 7 | 10 |
| １月 | ５２ | ５２ | 6 | 6 | 9 |
| ２月 | ４８ | ４８ | 5 | 5 | 10 |
| ３月 | １１４ | １１４ | １０ | 8 | 11 |
| 合　計 | 881 | 881 | 91 | 89 | 10 |

※ボランティア登録数７名（男０名・女７名）

## ３．認知症カフェ事業（カフェ木もく）（大河原町受託業務）

認知症になっても住み慣れた地域で安心に暮らしていくために、認知症当事者やその家族、地域住民が自由に交流できるカフェを開催した。また、３月には認知症サポーター養成講座を開催し、認知症についての正しい知識の普及啓発を行った。

開催日時　毎週木曜日　午前９時３０分～１１時３０分

開催場所　大河原町福祉センター

開設状況　**開設日数：４５日　合計延べ３１２名**

〈　利用内訳　〉

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 男性 | 6 | 7 | 6 | 3 | 1 | 5 | 2 | 5 | 4 | １０ | １０ | １４ | 73 |
| 女性 | １５ | １４ | １９ | ２１ | 4 | ２４ | ２６ | ２７ | ２１ | １９ | ２３ | ２６ | 239 |
| 計 | ２１ | ２１ | ２５ | ２４ | 5 | ２９ | ２８ | ３２ | ２５ | ２９ | ３３ | ４０ | 312 |

※８月（第2～4週）はコロナウイルスの感染拡大防止のため、休止した。

## ４．生活支援体制整備事業（大河原町受託業務）

**※この報告は、町に提出した事業報告書を掲載したため、一部内容が重複しています。**

1　生活支援体制整備事業の目的と位置づけ

生活支援体制整備事業は介護保険法（平成９年法律第１２３号）第１１５条の４５第２項第５号及び大河原町生活支援体制整備事業実施要綱に基づき、生活支援・介護予防サービスの充実と介護予防のための高齢者の社会参加に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の発掘・養成等を行うとともに、地域資源の把握・開発やネットワーク化を実施し、地域の支援体制の充実・強化を図ることを目的として平成２９年より大河原町より受託している。令和４年度は以下の３つの事業を中心として取り組んだ。

①　地域住民活動の支援

東部地区の地域活動を推進するためキハト会と新しい地域活動の立ち上げについて話し合いの場を持った。地域住民向けのカフェの設置の提案があり立上げに向けて継続した支援を行う。

また、将来の担い手育成のため小学校へ高齢者理解の福祉教育を実施した。

②　高齢者の介護予防と生活支援の推進

前期・後期高齢者保険証配布時などを利用して生活支援事業所一覧を作成し配布した。また生活支援事業「よりそい・たい」、本会事業コミュニティカフェや認知症カフェ及び町内つどいの場の紹介と参加を呼び掛けた。

③　気になる高齢者巡回訪問と台帳作成

介護保険の利用対象となるような一人暮らしや生活に不安がある高齢者を民生委員の協力によりリストアップし、民生委員、地域包括支援センター職員と訪問し社協有償ボランティア活動「よりそい・たい」や介護保険サービスにつなげた。また、訪問した高齢者を「気になる高齢者」としてリスト化した。

2　職員体制

令和４年度の本事業を担当した主な職員は以下の４名である。

（１）中村　顕伸
（２）武山　早苗
（３）東　佑衣
（４）水上　学歩

3　事業内容

**（１）地域資源等の把握**

①　「生活支援サービス事業所一覧」の作成

「生活支援サービス事業所一覧」を自前で３００冊印刷製本し、前期高齢者保険証及び後期高齢者保険証の交付時などに配付した。

②　地域活動団体（サロン等）への訪問、聞き取り

地域で活動するサロン等を訪問し、活動の状況を広報紙等で紹介するとともに、活動課題の聞きとりや、活動再開や新しい活動に向けた情報提供を行った。

③　生活支援体制整備事業広報誌等の発行

生活支援体制整備事業広報誌「こんにちわぁー」

９月１５日号、３月１５日号　11,000 部　全戸配布

本会広報誌「社協だより」

５月１５日号、８月１５日号、１１月１５日号、２月１５日号、11,000 部

全戸配布（再掲）

本会ホームページリニューアル：令和４年 10 月

フェイスブックの開設（再掲）

**（２）協議体（地域ぐるみの支え合い会議）の運営**

地域支援ニーズ及び既存の地域資源の把握並びに情報の見える化の推進等を目的として、地域ぐるみの支え合い会議を３回開催した。

①第１７回地域ぐるみの支え合い会議（令和４年６月２１日）

一人暮らし高齢者等の巡回訪問

新しい地域活動について

②第１８回地域ぐるみの支え合い会議（令和５年１月２０日）

一人暮らし高齢者等の巡回訪問について報告

高齢者理解の福祉教育実施について報告

千本桜スポーツパークを利用した健康促進とつながり作りについて

③第１９回地域ぐるみの支え合い会議（令和５年３月１０日）

千本桜スポーツパークの利用について　現地視察、活用について協議

**（３）生活支援サービスの担い手発掘・養成**

①　一人暮らし高齢者等の巡回訪問

一人暮らし高齢世帯等において、一般介護予防及び介護保険の利用相談が必要だと思われる方及び、将来不安を抱えそうな方（世帯）が、地域からの孤立を防止し、地域で安心して暮らせることを目的として実施した。

民生委員の協力を得てリストアップした４３世帯を、生活支援コーディネーターと地域包括支援センター職員、地区の担当民生委員が 3 人チームで巡回訪問した。日頃の生活における困りごとやニーズの聞き取りを行なうとともに、継続して見守りが必要な方を選定し、台帳に整理した。また介護サービスの利用へつながったケースもあった。

②　「よりそい・たい」登録ボランティア情報交換会

高齢者等を対象として日常生活のちょっとした困りごとを解決する有償ボランティアサービス「よりそい・たい」に登録するボランティアを対象とした情報交換会を開催し、サービ

ス利用の促進、拡大などについて協議した。

日　時　：令和５年１月３１日　午後１：３０～３：００

場　所　：大河原町福祉センター　ボランティア７名参加

③　有償ボランティア先進地視察情報交換

東松島市社会福祉協議会有償助け合いサービス「ひがまつ・安心サポート」を視察、大河原町「よりそい・たい」事業の課題解決のために情報交換を行った。

日　時　：令和４年１１月２１日　午後１：３０～４：００

場所：東松島市社会福祉協議会

④　福祉教育の実施

将来の福祉人材の担い手育成のため、小学校で高齢者理解の福祉教育を実施した。核家族化が進み高齢者との接触が少なくなってしまった子どもたちに、オンラインを通じ、高齢者の普段の生活に関する質問をしてもらい、高齢者から直接回答してもらった。子どもたちの想像とは異なっていた部分も多く、貴重な学びと世代間交流が実現された。(再褐)

⑤　非常持ち出し袋配布に伴う状況確認と広報活動

平成１７年から一人暮らし高齢者（７０歳以上）を対象に災害時の備えとして非常持ち出し袋を配付を実施している。4 年度は生活支援コーディネーターが地区担当の民生委員と同行し対象者を直接訪問し８３世帯へ配付した。配付に合わせ、生活の話を伺うとともに、集いの場の紹介なども行った。(再褐)

⑥　はつらつメイト養成講座

はつらつメイト養成講座の開催に協力した。ボランティア活動についての講義等を行った。令和４年６月～８月、全８回開催

⑦　２０２２元気アップフェア in おおがわら

２０２２元気アップフェア in おおがわらの運営に協力した。

日時：令和４年５月２８日　午前８：４５～１２：００

場所：大河原町中央公民館、金ケ瀬公民館

**（４）活動の場の発掘・開発と地域に不足するサービスの創出**

①　「ラジオ体操」によるつながりの維持

介護予防とニーズ調査、活動継続支援などの為に生活支援コーディネーターが地域に出向き住民とラジオ体操を行った。のべ８２回実施。

②　上谷・上大谷地区をモデル地域とした具体的事業の検討

６月２１日（火）に開催した地域ぐるみの支え合い会議で提案した、「地域の思いを具体的な事業に結びつける。上谷・上大谷地区をモデル地域として」の推進のために、地域活動者キハト会代表岩淵礼子さんにヒアリングと意見交換の場を持った。

地域における子育て支援の話や地域住民によるカフェの提案があり、今後、社協でも支援・協力を検討することとした。

③　小学生との世代交流（福祉教育）

福祉教育の一環として、大河原小学校４回、大河原南小学校１回、教室と地域のサロン参

加者をリモートでつなぎオンラインで交流。（再掲）

④　認知症カフェ「カフェ木もく」

認知症の人とその家族、地域住民などが参加し集うことができる場として、認知症カフェを開催した。認知症の人を地域で支え合うために正しい知識の普及啓発を行った。（再掲）

⑤　「地区のつながりづくりに役立つ備品等」の設備助成金

歳末たすけあい配分金を活用し、大河原町内４３の行政区を対象として、老人クラブやサロン等を含む地域のつながりの維持及び再生に役立つ備品等整備助成事業を新設した。今年度は４団体に総額５７４，０００円の助成を行った。（再掲）

**（５）関連研修への参加**

①　生活支援コーディネーター会議

生活支援コーディネーター間でプロジェクト案作成や進捗確認、情報共有、協議体の運営等打ち合わせ・会議を１７回実施した。

②　令和４年度大河原町ケアマネージャー連絡協議会研修会

ケアマネージャーとの情報交換と研修会。

日時：令和４年８月１９日　午後１：３０～３：３０　Web 会議

③　宮城県社会福祉協議会ゴミ屋敷対策事例情報交換

ゴミ屋敷問題について県社協より情報提供してもらった。地域住民のかかわり方などについて情報交換した。

日時：令和４年１１月１７日　午後４：００～５：００

場所：大河原町福祉センター　１階事務室

## ５．福祉作業所さくら運営事業（大河原町指定管理業務）

### □大河原町福祉作業所さくら（地域活動支援センター）の活動状況

福祉作業所さくらでは「地域活動支援センター」として、利用者が明るく健康的な生活を送りながら、社会への適応訓練や各種の作業訓練を行い、社会生活への適応力を養うことを理念として各種事業、活動に取り組んでいる。

（１）利用者生産活動の機会提供

利用者の希望、能力、適性等に応じて生産活動機会を提供した

〇町内の企業からの受託作業（斎藤製作所、菓匠三全）

（２）創作的活動（支援）

利用者に対して、音楽、絵画、工作等の指導援助や支援を行いながら、利用者が生活の中で楽しめる事を見つけられるように支援した。

・さくらブランド制作（クラフト小物等）
・各種行事の看板作り（さくら茶屋、豆まき会等）
・パソコンを使っての活動（イラスト、ぬり絵等）
・ステンシル（６月１７日、１月２７日）等
・農園活動　（ジャガイモ、ニンニク、タマネギ等）

（３）社会的適応訓練

外出・買い物等の日常生活における社会的自立に必要な知識と技能の習得を支援した。

日常生活訓練

・食事会　　１月６日
・調理実習　　７月２９日、９月２日、１１月９日
・秋季研修会　１０月１４日
・缶・段ボールの回収・分別作業
・避難訓練　　５月３０日
・防災講話　　３月１１日

（４）機能訓練

レクリェーション、機能訓練を能力に応じて実施し体力維持・向上を図りながら、日常生活動作を一つでも多く習得できるよう支援した。

・散歩・歩行訓練　随時
・木曜体操（毎週）
・卓球バレー
・季節行事　お花見　４月１５日、豆まき　２月３日、ひな祭り　３月３日

（５）社会との交流促進活動

地域の様々な活動に積極的に参加し、地域社会との交流を促進した。町主催のイベント等への参加については、新型コロナウィルス感染拡大防止等の理由で事業を中止した。

・身体障害者福祉協会とのクリスマス会　　１２月２３日
・コミュニティカフェ　５月２３日、６月２０日、７月１１日
・さくら茶屋　６月２３日
・老人クラブ趣味の作品展　３月４日

（６）在籍利用者数　（単位：人）

| 性別 | 令和２年度末現在 | 令和３年度末現在 | 令和４年度末現在 |
|---|---|---|---|
| 男 | 8 | 8 | 7 |
| 女 | 6 | 6 | 7 |
| 計 | １４ | １４ | １４ |

（参考）利用者の年齢構成（Ｒ４年度末現在）　（単位：人）

| 年齢 | 15~20 歳 | 21~30 歳 | 31~40 歳 | 41~50 歳 | 51~60 歳 | 61 歳以上 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 男 | 0 | 1 | 0 | 2 | 4 | 0 |
| 女 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 2 |
| 計 | 0 | 2 | 0 | 4 | 6 | 2 |
| (最年少23歳) | | | | | | (最高齢81歳) |

（７）利用者等状況

| 月 | 延べ利用者（人） | 開所日数（日） | 月平均（人） | ボランティア延べ人数 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|
| R4.4 | ２２３ | ２０ | １１ | ５０ | 利用者長期欠席１名（年間） |
| 5 | １９５ | １８ | １１ | ３３ | |
| 6 | ２３４ | ２２ | １１ | ３５ | |
| 7 | ２２４ | ２０ | １１ | ４２ | |
| 8 | ２０１ | １８ | １１ | １５ | |
| 9 | ２１６ | ２０ | １１ | ２７ | |
| 10 | １１２ | １０ | １１ | ２６ | 10月17日~28日(コロナ感染症のため臨時休業) |
| 11 | ２０５ | ２０ | １０ | ４５ | |
| 12 | １９８ | １９ | １０ | ４３ | |
| R5.1 | １７３ | １８ | １０ | ３２ | |
| 2 | １９７ | １９ | １０ | ４１ | |
| 3 | ２１２ | ２２ | １０ | ４５ | 退所２名 |
| 計 | ２，３９０ | ２２６ | １１ | ４３４ | |

＊ボランティア登録数　２７名

（８）福祉作業所さくら運営委員会

| 開催年月日 | 内　　容 |
|---|---|
| ５月１６日（月）<br>第１回運営委員会 | 令和３年度事業報告<br>令和３年度事業会計決算報告<br>令和４年度事業会計補正予算（案） |
| ２月２０日（月）<br>第２回運営委員会 | 令和５年度事業運営計画（案）<br>令和５年度事業会計予算（案） |

（９）実習生の受け入れ

大河原町立大河原中学校の「職場体験学習」（総合的な学習の時間）で、２年生６名（男３、女３）が、９月７日、８日の２日間、生活支援員の職務を体験した。

## 資金貸付事業部門

（１）生活福祉資金貸付事業（宮城県社会福祉協議会受託業務）

①　生活福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯、障がい者または高齢者に対する生活福祉資金の貸付と相談支援並びに償還に向けた支援を行った。

| 取扱状況 | 相談受付数 | 償還指導数 | 本年度県社協への申請数 |
|---|---|---|---|
| | ４１ | 4 | 0 |

②　貸付状況（R５．３月末日現在）

教育支援資金２件、総合支援費１件、福祉費１件、緊急小口資金４件、緊急小口資金（東日本震災特例）５１件、緊急小口資金（台風 19 号特例）１件

③　新型コロナウイルス対応生活福祉資金特例貸付事業の実施

緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の実施

「新型コロナウイルス」の影響を受け、収入の減収や失業等により生活に困窮している世帯等を支援するため、当座の生活維持費用及び生活再建までの必要な生活費用としての貸付制度。

※受付期間は令和２年３月２５日から令和４年９月３０日まで

**[貸付相談支援等の状況]（令和５年３月末日現在）**

**緊急小口資金（特例）貸付**

| 令和４年度実績 | | | これまでの貸付累計<br>（令和２年３月２５日～令和５年３月末日） |
|---|---|---|---|
| 相談件数 | 申込件数 | 申込金額 | |
| ２０ | ２０ | 3,610,000 | 申込件数１９３／※１申込金額 35,850,000 |

**総合支援資金（特例）貸付**

| | 令和４年度実績（４月～１０月） | | | これまでの貸付累計 |
|---|---|---|---|---|
| | 相談件数 | 申込件数 | 申込金額 | （令和２年３月２５日～令和５年３月末日） |
| 新　規 | １５ | １５ | 8,500,000 | 申込件数１３０／申込金額 70,450,000 |
| 延長貸付 | 受付終了 | 受付終了 | 受付終了 | 申込件数３３／申込金額 17,250,000 |
| 再貸付 | 受付終了 | 受付終了 | 受付終了 | 申込件数５７／申込金額 30,750,000 |
| 合　計 | １５ | １５ | 8,500,000 | 申込件数２２０／※２申込金額 118,450,000 |

**緊急小口資金（特例）貸付と総合支援資金（特例）貸付の合計**

| 令和４年度実績 | | | これまでの貸付累計 |
|---|---|---|---|
| 相談件数 | 申込件数 | 申込金額 | （令和２年３月２５日～令和５年３月末日） |
| ３５ | ３５ | 12,110,000 | 申込件数４１３／申込金額 154,300,000 |

□緊急小口資金（特例）貸付と総合支援資金（特例）貸付　**償還免除状況**

| | 令和４年度実績 | | これまでの貸付累計 |
|---|---|---|---|
| | 免除件数 | 免除金額 | （令和２年３月２５日～令和５年３月末日） |
| 緊急小口 | ７５ | 14,800,000 | 申込件数１９３／※１申込金額 35,850,000 |
| 総合支援 | ５４ | 29,100,000 | 申込件数２２０／※２申込金額 118,450,000 |

（２）生活安定資金貸付事業

令和４年度中の新規貸付は無かったため、償還指導を主に行った。

①　生活安定資金の貸付状況

| 区分 | 令和４年３月 | 令和５年３月 |
|---|---|---|
| | １件 | １件 |
| 貸付 | ２５，０００円 | ２５，０００円 |
| 預金 | ６７５，０００円 | ６７５，０００円 |
| 合計 | ７００，０００円 | ７００，０００円 |

②　生活安定資金貸付償還滞納者への督促など　　償還滞納者　１名